

第3回 日本奏楽コンクール

THE 3RD NIHON SOGAKU COMPETITION

7TH AUGUST - 30TH AUGUST 2020

主催：日本奏楽コンクール審査委員会 後援：一般社団法人日本弦楽指導者協会 協賛コンクール：東京ピアノコンクール



部門・カテゴリ	幼児 (未就学児)	小学低学年 (小学1～3年)	小学高学年 (小学4～6年)	中学	高校	大学	一般A (年齢制限なし)	一般B (35歳以上)
ピアノ部門	●	●	●	●	●	●	●	●
ピアノ協奏曲部門	年齢不問 (各年齢において審査される)							
声楽部門				●	●	●	●	●
弦楽器部門	●	●	●	●	●	●	●	●
管楽器部門		●	●	●	●	●	●	●
アンサンブル部門	年齢不問 (各年齢において審査される) 連弾、2台ピアノ、二重奏、室内楽							
アマチュア部門	伴奏者を除き、18歳以上(上限なし)・音大等での専攻を専門としていない者							

- ※ ピアノ協奏曲部門はピアノ伴奏(各自用意)とし、2台ピアノ(横並び)審査とする
- ※ 弦楽器部門の対象は、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギターなど
- ※ 管楽器部門の対象は、リコーダー、ピッコロ、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、トランペット、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバなど
- ※ アマチュア部門の対象は、ピアノ、弦楽器、管楽器、声楽など
- ※ アンサンブル部門の二重奏や室内楽は、弦楽・管楽・打楽・声楽・ピアノ等による重奏など自由な編成でよい
- ※ 国籍、年齢は問わず、年齢制限がない場合は各年齢において審査される
- ※ 大学卒業者や大学院生は「一般」に含まれる(「一般A」は年齢制限なし、「一般B」は35歳以上)
- ※ 高校を今年卒業した浪人生は、「大学」または「一般A」を参加カテゴリとする

●申込期間と開催日程・会場

■申込 / 予備審査 (音源書類審査) ※予備審査免除制度あり (右の申込方法を参照)

●予選を仙台・札幌・神戸会場で参加希望の方▶2020年1月6日(月)～7月3日(金) 必着

●予選を東京会場で参加希望の方▶2020年1月6日(月)～7月17日(金) 必着

※締切間際の申込は避け早めの申込をお願い致します、複数の部門・カテゴリに参加可(それぞれの用紙を使用)

※6月5日(金)までに申込一式が到着した参加者には各到着後14日以内に合否のみを先んじて連絡する

※予備審査の結果・通過者の予選受付時間等詳細は、仙台・札幌・神戸予選は7月下旬、東京予選は8月上旬に通知予定

■予選

・仙台▶8月7日(金) 塩竈市民交流センター遊ホール 全部門 ※審査員による講評用紙

・札幌▶8月10日(月祝) 札幌ザ・ルーテルホール 全部門 ※審査員による講評用紙

・神戸▶8月11日(火) 東灘区民センターうはらホール 全部門 ※審査員による講評用紙

・東京▶8月15日(土) 品川区立五反田文化センター(スタジオ・ホール)

弦楽器部門、管楽器部門、アンサンブル部門、アマチュア部門、ピアノ協奏曲部門 ※審査員による講評用紙

・東京▶8月16日(日) 品川区立五反田文化センター(スタジオ・ホール)

ピアノ部門、声楽部門、アンサンブル部門、アマチュア部門、ピアノ協奏曲部門 ※審査員による講評用紙

※ピアノ協奏曲部門・アンサンブル部門・アマチュア部門の東京予選のみ8月15日(土)・16日(日)から選択可能

※参加者の氏名は公表せず、本選最終結果での入賞者氏名を公表し、予選時は審査員による講評用紙が当日渡される

■本選/授賞式

8月22日(土) 東京都品川区立五反田文化センター(スタジオ・ホール)

ピアノ部門、声楽部門、ピアノ協奏曲部門、アンサンブル部門(連弾・2台ピアノ)、アマチュア部門(ピアノ・声楽)

8月30日(日) 東京都品川区立五反田文化センター(スタジオ・ホール)

弦楽器部門、管楽器部門、アンサンブル部門(二重奏・室内楽)、アマチュア部門(弦楽器・管楽器など)

※両日の本選審査会終了後、同会場にて第2回準グランプリ受賞者演奏会、第3回結果授賞式が行われる

●参加曲目

任意の一曲または複数曲の自由曲(予備審査、予選、本選が同一曲、または異なる作品でも可)

※演奏作品は、数分(小学は1分程度～)から最大10分前後程度までを目安とする

※予選を通して、途中で演奏を打ち切る場合があるが、審査には影響なく、演奏曲が当日の審査時間より長い短いは、審査に影響ない

※楽章・組曲・変奏曲などのカットを認め、予選・本選を通して繰返しはしないが(ダ・カーポはすること)、幼児・小学生の短い作品の繰返しは任意とする

※チューニングの必要な楽器は前もって行い、伴奏者の前奏、間奏が長い作品はできるだけその部分をカットすること

※無伴奏の作品でも可。伴奏者は各自用意し、ピアノ協奏曲部門(予備審査)はピアノ伴奏(各自用意)とする

※ピアノ協奏曲部門の予備審査の音源は、ピアノ独奏作品でも可とする

※申込後の曲目・演奏時間の変更は各審査日の1週間前までにメールにて連絡のこと

●表彰及び発表

・全部門よりグランプリ(賞金200,000円、賞状、楯、翌年度の演奏会出場権等 授与)

・各部門(各カテゴリ)：第1位、第2位、第3位(賞状、第3位以上に入賞楯 授与)、特別賞(賞状)、優秀伴奏者賞(賞状)、入選 他

・音楽教育者賞(グランプリ・2名以上の入賞者に指導している先生に贈られ、アンサンブル部門は1組で1名とする 証書贈呈)

・予選演奏賞(幼児・小学・中学の予選通過者に賞状)

※本選の入賞者は授賞式(夜)にて発表され、本選の入賞者は9月下旬までにホームページに発表予定

●審査委員 音楽大学教授陣など(詳しくはホームページを参照) ※日程や部門により異なる

●申込方法及び参加料支払方法

申込 / 予備審査 ※予備審査免除対象者に該当し申請する者は、申込時の予備審査を免除

① 必要事項を記入し予備審査参加料(免除者は予選参加料) 振込書のコピーを貼付した所定の申込用紙

② 部門・カテゴリ・氏名・曲目を明記した予備審査音源 ※参照(予備審査免除者は不要)

③ 94円切手を貼り郵便番号・住所氏名を記入した返信用封筒(のり付き長3定形封筒)

上記の①②③の3点(免除者は2点)を同封の上、下記の事務局に期日までに郵送必着

※ 申込書貼付の振込書コピーは通常の振込金額・日付記載のATM利用明細書のコピーでよい

※ 音源はCD・MD・DVD・テープのいずれかとし、音質・録音状態は問わない

※ 直接事務局にお持込はお控え下さい

予備審査免除対象者

・第1回以降の日本奏楽コンクール本選入賞者(※参照)

・第10回以降の東京ピアノコンクール入賞者(※参照)

・外国国籍の参加者

※入選者は含まれず、同専攻・同楽器に限る

※アンサンブル部門はグループ内の1人以上が入賞していること

予選 予備審査の通過者は結果通知書に明記された期日までに予選参加料を振込

※予備審査免除者は申込時に予選参加料をお振込下さい

本選 予選を通過された方は本選当日、受付の際に参加料をお支払下さい

参加料振込先

みずほ銀行 中井支店 普通 1152810 日本奏楽コンクール実行委員会

参加料			
カテゴリ	予備審査	予選	本選
幼児・小学低学年		10,800円	15,000円
小学高学年		11,800円	16,000円
中学		12,800円	17,000円
高校		13,800円	18,000円
大学		14,800円	19,000円
一般A・一般B	8,850円	15,800円	20,000円
ピアノ協奏曲		18,800円	23,000円
アンサンブル(1組)		23,800円	28,000円
アマチュア		16,800円	20,000円

●その他

■ピアノ伴奏者の譜めくりが必要な場合は各自で用意すること

■ピアノの足台・補助ペダルが必要な場合、本人または関係者が素早く設置

(各自持参または東京会場のみ貸出…ヤマハHP700)

■やむを得ず棄権する場合は、必ず速やかに所定の緊急連絡先に連絡すること

■申込み後のキャンセルおよび棄権の場合の払い戻しは行いません

■参加に関わる交通費、宿泊費等の費用は参加者の負担になります

■電話やメールでの審査結果のお問い合わせは一切応じられません